



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社イエローハット 上場取引所 東
 コード番号 9882 URL <http://www.yellowhat.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀江 康生
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 木村 昭夫 (TEL) 03-6866-0163
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	31,133	△5.3	1,798	△16.1	2,067	△14.7	1,369	△18.1
2020年3月期第1四半期	32,880	4.7	2,144	53.2	2,422	33.4	1,671	27.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,517百万円(△7.4%) 2020年3月期第1四半期 1,638百万円(32.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	29.69	29.57
2020年3月期第1四半期	36.25	36.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	106,145	84,763	79.7	1,834.02
2020年3月期	109,560	84,420	76.9	1,827.10

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 84,574百万円 2020年3月期 84,256百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	26.00	46.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	26.00	—	26.00	52.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	61,000	△14.7	2,900	△49.1	3,300	△46.4	2,300	△45.7	49.88
通期	142,000	0.7	10,300	2.0	11,200	0.9	7,400	0.9	160.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	49,923,146株	2020年3月期	49,923,146株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	3,808,567株	2020年3月期	3,808,477株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	46,114,633株	2020年3月期1Q	46,109,813株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当期の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により急激に悪化しました。また、政府による緊急事態宣言発令に伴い、外出自粛や店舗休業が本格化し、個人消費に対する影響も大きく、先行きが不透明な状況となりました。

当カー用品業界におきましては、このコロナ禍において、特に来店客数の減少及びタイヤやカーナビゲーション等の高単価商品が販売不振となりました。しかしながら、緊急事態宣言解除後の6月以降、徐々に客数も増加し、高単価商品販売の動きも復調はじめております。

このような環境下におきまして、当社グループでは、クルマは生活をする上で重要なインフラであることから、店舗の営業時間の短縮等を行いながら、整備作業及びカー用品の提供を継続してまいりました。なお、店舗におきましては、レジでの飛沫拡散防止のためのビニールシートの設置、店舗設備の消毒の強化、従業員のマスク着用や体調管理と確認の励行、出入口のドアや窓の開放による換気の励行など、お客様及び従業員の安全と健康を最優先に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間におきましては、タイヤやカーナビゲーション、ドライブレコーダーなどの高単価商品の販売減少及びそれらの商品に伴う取付工賃収入も減少したことなどにより、売上高は311億33百万円（前年同期比94.7%、17億46百万円減）、売上総利益は130億41百万円（前年同期比96.9%、4億21百万円減）となりました。

販売費及び一般管理費は、子会社店舗の増加に伴う人件費や賃借料等が増加した一方、緊急事態宣言期間中の広告宣伝活動を抑制したことにより、112億42百万円（前年同期比99.3%、75百万円減）となりました。

その結果、営業利益は17億98百万円（前年同期比83.9%、3億45百万円減）、経常利益は20億67百万円（前年同期比85.3%、3億55百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては13億69百万円（前年同期比81.9%、3億2百万円減）となりました。

売上高の主な部門別内訳につきましては、卸売部門は94億70百万円（前年同期比91.2%、9億10百万円減）、小売部門は191億92百万円（前年同期比95.5%、9億1百万円減）となりました。

②当期のセグメント別概況

当第1四半期連結累計期間の事業の種類別セグメント別の概要は次のとおりであります。

<カー用品・二輪用品等販売事業>

当第1四半期連結累計期間におけるイエローハット店舗の出退店の状況です。

国内では、2020年4月にトレッド春日井店（愛知県）、6月に鳥取駅南店（鳥取県）、厚木岡田店（神奈川県）の計3店舗を開店、2020年4月にトレッド春日井八田店（愛知県）、トレッド湘南平塚店（神奈川県）、5月にトレッド千葉鎌ヶ谷店（千葉県）、6月に宝塚安倉店（兵庫県）、松山11号バイパス店（愛媛県）の計5店舗を閉店いたしました。

イエローハット店舗以外では、2020年6月にバイク館SOXさいたま中央店（埼玉県）を閉店いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間末の店舗数は、国内がイエローハット736店舗、2りんかん56店舗、バイク館SOX51店舗、海外がイエローハット3店舗の合計846店舗、イエローハット車検センターが7拠点となりました。

当第1四半期連結累計期間のカー用品・二輪用品等販売事業の売上高は、295億36百万円（前年同期比94.3%、17億77百万円減）、セグメント利益につきましては、14億43百万円（前年同期比78.0%、4億7百万円減）となりました。

<賃貸不動産事業>

当第1四半期連結累計期間の賃貸不動産事業の売上高は、15億97百万円（前年同期比102.0%、30百万円増）、セグメント利益につきましては、3億54百万円（前年同期比121.3%、62百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、464億21百万円(前連結会計年度末504億92百万円)となり、40億70百万円減少いたしました。これは主にその他(未収入金など)が25億50百万円、受取手形及び売掛金が10億17百万円、たな卸資産が9億85百万円減少した一方で、現金及び預金が5億31百万円増加したことによります。

また、固定資産の残高は597億24百万円(前連結会計年度末590億68百万円)となり、6億55百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が3億14百万円、有形固定資産のその他(純額)が2億12百万円増加したことによります。

この結果、総資産残高は1,061億45百万円(前連結会計年度末1,095億60百万円)となりました。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、157億円(前連結会計年度末194億59百万円)となり、37億59百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が25億円、未払法人税等が11億40百万円減少したことによります。

また、固定負債の残高は56億82百万円(前連結会計年度末56億80百万円)となり、1百万円増加いたしました。

この結果、負債残高は213億82百万円(前連結会計年度末251億39百万円)となりました。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、847億63百万円(前連結会計年度末844億20百万円)となり、3億42百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を13億69百万円計上したこと、その他有価証券評価差額金が1億48百万円増加した一方で、配当金を11億99百万円支払ったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月8日の決算短信で発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,199	8,730
受取手形及び売掛金	8,518	7,501
たな卸資産	26,497	25,512
その他	7,406	4,856
貸倒引当金	△130	△179
流動資産合計	50,492	46,421
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	41,422	41,554
減価償却累計額	△22,466	△22,774
建物及び構築物(純額)	18,956	18,780
土地	19,997	20,188
その他	8,769	9,117
減価償却累計額	△5,652	△5,787
その他(純額)	3,116	3,329
有形固定資産合計	42,070	42,298
無形固定資産		
ソフトウェア	255	336
その他	475	472
無形固定資産合計	730	809
投資その他の資産		
投資有価証券	2,316	2,630
敷金	9,177	9,161
その他	5,076	5,125
貸倒引当金	△302	△301
投資その他の資産合計	16,267	16,616
固定資産合計	59,068	59,724
資産合計	109,560	106,145

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,375	6,875
未払法人税等	1,931	790
賞与引当金	1,173	1,674
ポイント引当金	648	683
その他	6,330	5,676
流動負債合計	19,459	15,700
固定負債		
退職給付に係る負債	154	157
リース債務	258	243
資産除去債務	2,969	2,979
その他	2,296	2,302
固定負債合計	5,680	5,682
負債合計	25,139	21,382
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,072	15,072
資本剰余金	10,401	10,401
利益剰余金	62,718	62,888
自己株式	△2,248	△2,248
株主資本合計	85,944	86,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	252	401
土地再評価差額金	△1,907	△1,907
為替換算調整勘定	21	17
退職給付に係る調整累計額	△55	△50
その他の包括利益累計額合計	△1,688	△1,539
新株予約権	160	185
非支配株主持分	4	3
純資産合計	84,420	84,763
負債純資産合計	109,560	106,145

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	32,880	31,133
売上原価	19,418	18,092
売上総利益	13,462	13,041
販売費及び一般管理費	11,318	11,242
営業利益	2,144	1,798
営業外収益		
受取利息	16	12
受取手数料	64	70
持分法による投資利益	24	22
貸倒引当金戻入額	49	—
その他	141	174
営業外収益合計	296	280
営業外費用		
支払利息	3	3
為替差損	9	—
その他	4	8
営業外費用合計	17	11
経常利益	2,422	2,067
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	10	1
特別損失合計	10	1
税金等調整前四半期純利益	2,412	2,065
法人税、住民税及び事業税	842	786
法人税等調整額	△100	△88
法人税等合計	741	698
四半期純利益	1,670	1,367
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,671	1,369

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,670	1,367
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	147
為替換算調整勘定	△0	0
退職給付に係る調整額	4	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△3
その他の包括利益合計	△32	149
四半期包括利益	1,638	1,517
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,638	1,518
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(2020年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染症拡大による当社グループ事業における影響につきましては、上期末までには事業環境も通常の状態に戻るという仮定の下、緊急事態宣言が発出された上期を中心に、来店客数の減少による売上高の減少を想定しております。

一方で、クルマは生活をする上で重要なインフラであることから、当社グループ事業に対する一定の需要が継続することが見込まれ、通期における影響は軽微であると仮定し、固定資産の減損、貸倒引当金、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	カー用品・ 二輪用品等 販売事業	賃貸不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,314	1,566	32,880	—	32,880
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	31,314	1,566	32,880	—	32,880
セグメント利益	1,851	292	2,144	—	2,144

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	カー用品・ 二輪用品等 販売事業	賃貸不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,536	1,597	31,133	—	31,133
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	29,536	1,597	31,133	—	31,133
セグメント利益	1,443	354	1,798	—	1,798

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。